

再生プラスチックの循環性向上のための品質分析データバンク構築

研究代表者 高田昌樹（東北大学 総長特別補佐、光科学イノベーションセンター 理事長）

発表者 白須圭一（東北大学大学院工学研究科ファインメカニクス専攻 准教授）

河井貴彦（東北大学グリーン未来創造機構グリーンクロステック研究センター 准教授）

背景・目的

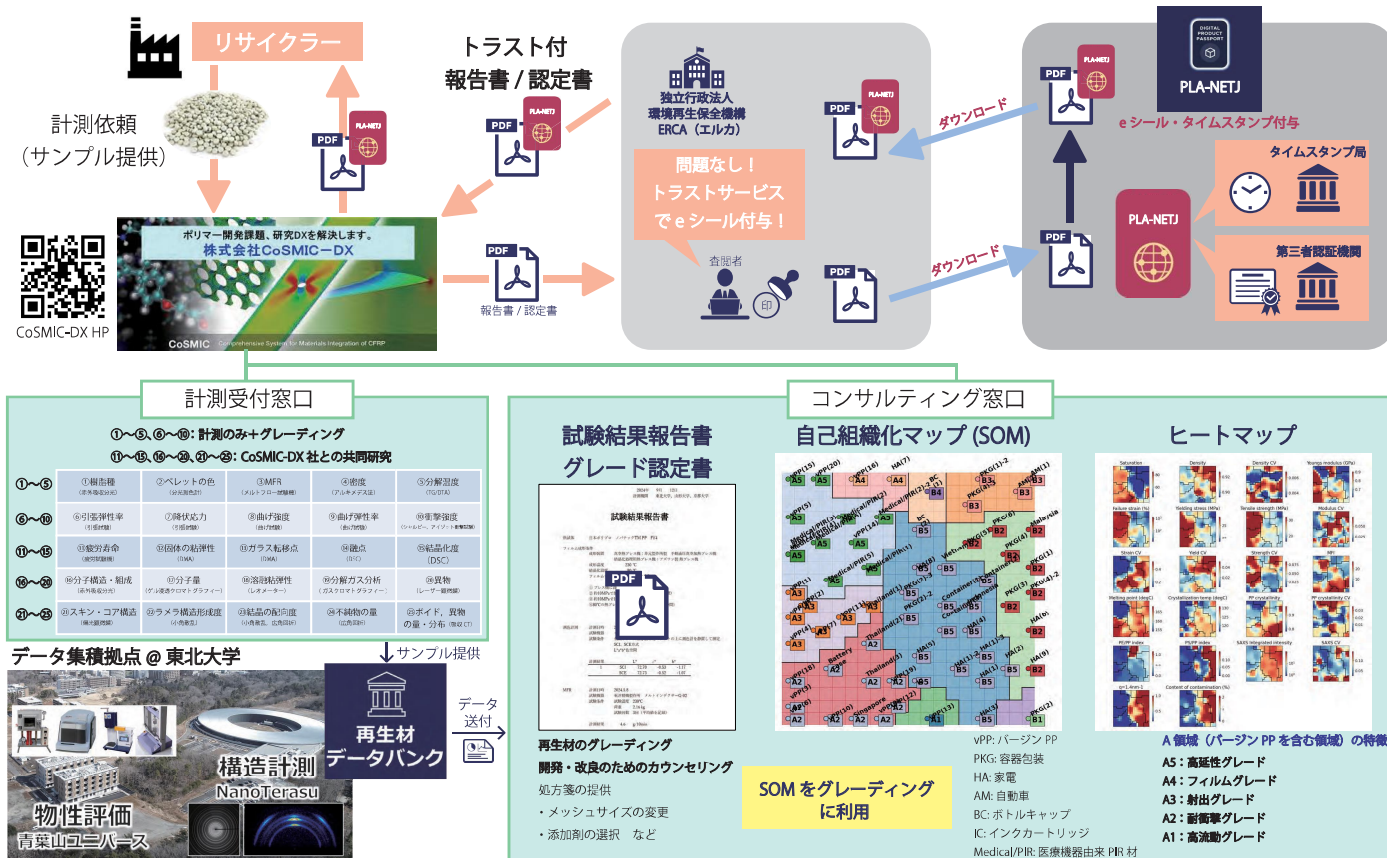
- 再生材は物性劣化の因子となる構造データが不足
- 再生材の物性・構造データが不足していることは各社の共通の課題
- ELV 規則案 * が承認されれば 2030 年から自動車部品への再生材の使用が義務化
- 今後の再生材需要の高まりに対応すべく、高品質化、品質の安定化が急務
- 東南アジアの再生材もデータバンクに蓄積し国際的ルール形成を先導的に推進



再生材データバンクの社会実装に向けた取り組み

CoSMIC-DX 社に計測窓口とグレーディング後のコンサルティング窓口を委託

再生材データバンクを活用して、新規サンプルのグレーディングと再生材開発・改良のためのコンサルティングを行う



連絡先

高田昌樹 仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学多元物質科学研究所 科学計測研究棟 N 棟

白須圭一 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-01 機械・知能系共同棟 322 号室

河井貴彦 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1 青葉山ユニバース 402 室



PhoSIC HP



グリーンクロステック
研究センター HP



E3000 XE E3 Twitter